

日本古生物学会第162回例会

2013年1月25日（金）～1月26日（土） 横浜国立大学

1月27日（日）県民共済 みらいホール

共催：横浜国立大学・独立行政法人海洋研究開発機構

***** 1. プログラム 概要 *****

1月 25 日（金）会場：横浜国立大学 教育文化ホール 大会議室

【13:00～17:45】シンポジウム「化学合成生態系の過去と現在をつなぐ」…………… ii

【18:00～20:00】懇親会（会場：第1食堂「れんが館」）…………… ii

1月 26 日（土）会場：横浜国立大学

教育人間科学部講義棟 7 号館（口頭発表）・中央図書館 1F（ポスター）

【9:00～10:30】一般講演 口頭発表 1（A～C 会場）…………… iii

【10:30～10:40】休憩

【10:40～11:55】一般講演 口頭発表 2（A～C 会場）…………… iii-vi

【11:55～13:00】昼食

【13:00～14:00】一般講演 ポスター発表コアタイム（ポスター会場）…………… iv-v

【13:00～14:00】「化石友の会」講演会（C 会場）

【14:10～15:40】一般講演 口頭発表 3（A～C 会場）…………… vi

【15:40～15:50】休憩

【15:50～17:05】一般講演 口頭発表 4（A～C 会場）…………… vii

【17:05～17:15】一般講演 ポスター表彰式（受付付近）…………… vii

【17:15～】夜間小集会（A 会場）…………… vii

1月27日（日）会場：県民共済 みらいホール

【14:00～16:00】普及講演会「化石と現生生物から分かる相模湾の大規模環境変動」… vii

発表方法と発表機器についての注意事項（必ずお読み下さい）…………… viii

会場案内、交通案内など…………… ix-xii

2013年例会参加費 一般会員・非会員3000円 友の会会員・学生会員1000円

高校生以下無料（予稿集は有料）

******* 2. プログラム 詳細 *******

1 月 25 日（金）横浜国立大学教育文化ホール シンポジウム「化学合成生態系の過去と現在をつなぐ」

コンビナー：ロバート・ジェンキンズ（金沢大）・渡部裕美（海洋研究開発機構研究員）

1. 13:00-13:30 化学合成生態系：過去と現在のつながりを求めて ロバート・ジェンキンズ（金沢大）
2. 13:30-14:00 初期地球の微生物進化と表層の酸化還元分化 上野雄一郎（東工大・理）
3. 14:00-14:30 いま海底下で何が起きているか？ ～第3の生物界「アーキア」ワールドの視点から 高野淑識（海洋研究開発機構）
- 【14:30-14:45】 休憩
4. 14:45-15:15 生物多様性からみる化学合成生物群集の「つながり」 渡部裕美（海洋研究開発機構）
5. 15:15-15:45 分子と生態，化石からみる化学合成系腹足類の進化 狩野泰則（東大・大気海洋研究所）
6. 15:45-16:15 化学合成系二枚貝の化石記録と進化 天野和孝（上越教育大学・学校教育研究科）
- 【16:15-16:30】 休憩
7. 16:30-17:00 新生代化学合成化石群集の研究から分かった事 ―日本とフィリピンでの研究例― 間嶋隆一（横浜国立大学・環境情報研究院）
8. 17:00-17:30 シロウリガイ類繁栄を読み解く：地下断面から貝類行動学への展開 延原尊美（静岡大・教育学部）
9. 17:30-17:45 総合討論

【18:00～20:00】懇親会

懇親会（第1食堂「れんが館」）本プログラム x ページ参照

会費：一般会員・非会員 5,000 円，学生・友の会会員 3,000 円

懇親会への参加は、1 月 11 日（金）までに下記担当までお申し込みください。

和仁良二（環境情報研究院） 電話&FAX：045-339-3688， 電子メール：wani@ynu.ac.jp

ハガキでの申込先：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2 本郷 MT ビル 401 号室

日本古生物学会事務局 03-3814-5490

[準備の都合上、参加希望される方は、必ず事前にメールかハガキでお申し込みください]

1 月 26 日（土）横浜国立大学教育人間科学部講義棟 7 号館

【9:00~10:30】一般講演 口頭発表 1（A~C 会場）

A 会場（101 教室）	B 会場（103 教室）	C 会場（104 教室）
形態解析・古脊椎動物の部 座長：小林快次	分類・系統進化の部 座長：佐々木猛智	生層序の部(1) 座長：高橋昭紀
A01m: 犬塚則久・半澤紗由里 哺乳類手根骨の形態とその 機能的意義	B01m: 松原尚志 日本産 古第三紀モシオガイ科(二 枚貝綱) の分類と分布	C01w: 指田勝男・上松佐知 子・Mat Niza Abdul Rahman・ brahim Amnan B マレーシア 国反東部最北端の Kaki Bukit 周辺から産する石炭紀前期放 散虫とシルル紀コノドントの 予察的研究
A02m: 田中嘉寛・R・ユワ ン・フォーダイス カワイル カ上科における前肢の変遷 と遊泳様式	B02m: 中島 礼・佐々木 猛智・三本健二・延原尊美 トウキョウホタテはいつ 絶滅したのか？	C02w: 小沼拓也・上松佐知 子・指田勝男 関東山地南東部 の石炭紀石灰岩および日本の 石炭紀コノドント生層序に関 する予察的報告
A03m: Tsai, Cheng-Hsiu・ Fordyce, R. Ewan Evolution of Feeding Strategy in Early Rorqual-Like Mysticetes	B03m: 近藤康生・山岡勇 太 北西太平洋温帯域にお ける海産貝類の種分化モ デル: 寒冷化期の分布北縁 域における集団隔離と沿 岸水適応	C03w: 小松俊文・平田健人・ 高嶋礼詩・田中原吾・Ta H. Phuong・Dang T. Huyen ベトナム 北東部に分布するフォーハ ン層のデボン紀~石炭紀境界
A04m: 河部壮一郎・安藤達 郎・遠藤秀紀 プロトプテル ム類とペンギン類における 脳形態の類似性: 水鳥類にお ける脳の比較形態学的研究	B04w: 天野和孝・ジェン キンズ, ロバート 日本産 ハイカブリニナ属 (腹足 綱) の化石記録と時空分布	C04w: 前川 匠・小松俊文・ 重田康成・Dang Trang Huyen ベトナム北東部に分布するラ ンソン層上部から産出したコ ノドントとその地質年代
A05w: Tatsuro Ando・R. Ewan Fordyce Waimanu penguins: early wing-propelled divers	B05w: 酒井理恵・鍵 裕 之・亀形菜々子・佐々木猛 智 カサガイ類(腹足綱)に おける貝殻微細構造と構 成鉱物の進化	C05m: 鈴木寿志・尾上哲治・ 三上禎次・佐藤峰南・石田啓 祐・ガウリック, ハンス・ユ ルゲン ジュラ系の国際境界 模式層序・位置 (GSSP) と北部石灰アルプスのジュラ 紀層
A06w: 藤原慎一・安西 航・ 遠藤秀紀 主竜類の前肢骨格 の関節軸—軟骨を失った骨 形態からいかに確からしい 復元を行なうか	B06w: 佐藤 圭・渡部裕 美・佐々木猛智 日本産原 鰐亜綱(二枚貝綱) にお ける貝殻微細構造の進化	C06m: 前田晴良・上田直人・ 西村智弘・田中原吾・野村真 一・松岡廣繁 高知県佐川地域 の七良谷層から最上部ジュラ 系アンモノイドの産出

【10:30~10:40】休憩

【10:40~11:55】一般講演 口頭発表 2（A~C 会場）

A 会場	B 会場	C 会場
古脊椎動物の部(1) 座長：藤原慎一	分類・学史の部 座長：松原尚志	生層序の部(2) 座長：前田晴良
A07w: 宮嶋佑典・大江文雄・ 小池伯一・松岡廣繁 長野県 松本市反町の中新統別所累 層から産出したカワハギ科 (Monacanthidae) 魚類化石	B07m: 鵜飼宏明・小松俊 文・Nguyen Huu Hung・ Dang Tran Huyen ベトナム 北部ナーズン堆積盆地 (Na Duong Basin) の淡水 生貝類化石報告	C07w: 米澤駿介・三尾俊平・ 長谷川卓 MCE I : 白亜紀 セノマニアン期の炭素同位 体比イベントは蝦夷層群で 認識可能か？

A08w: 田中源吾・水野吉昭・前田晴良・大路樹生・田崎義勝 中新世サンゴイワシの発光器の化石	B08w: 奥村よほ子・三宅幸雄・田沢純一 足尾山地葛生地域山菅産前期ペルム紀腕足類, 第3報. 微小腕足類 <i>Cooperina</i>	C08w: 高橋昭紀・本田豊也 北海道天塩中川地域上部白亜系の蝦夷超層群から新たに産出したイノセラムス類とその層序学的意義
A09m: 北村直司 御船層群産サメ類オオワニザメ科化石	B09w: 三澤 亮・近藤康生・金沢謙一 日本産中生代ウニ類の変遷	C09m: 古山精史朗・國光陽子・王 偉・狩野彰宏 エディアカラ系 Doushantuo 層海盆相からの微化石とその層序マーカーとしての意義
A10m: 平山 廉・昆 彭生・吉田将崇 早稲田大学直良信夫コレクションの栃木県佐野市葛生産(更新統)ミヤタハコガメについて	B10w: 増尾はづき・山川千代美・松本みどり・矢部淳・三宅 尚 鮮新統上部古琵琶湖層群産マツ科トガサワラ属球果化石の形態比較	C10m: 兼子尚知・鈴木千里・田沢純一 ペルム系高倉山層下部産腕足類フォーナ
A11w: 高橋亮雄・平山 廉・安川雄一郎 セマルハコガメ属(イシガメ科)の腸骨の形態について	B11w: 矢島道子 「古生物学」の嚆矢	C11w: 田沢純一・新谷友彦 南部北上帯上八瀬地域の坂本沢層基底部から産出した前期ペルム紀腕足類

【11:55~13:00】 昼食

【13:00~14:00】 一般講演 ポスター発表コアタイム

ポスター会場：中央図書館 1F

- P01: 酒井佑輔・山口一男・関戸信次・松岡 篤 石川県白山市の下部白亜系手取層群赤岩亜層群赤岩層より産出した *Zamites* 属を含む植物化石群集
- P02: 成田敦史・松本みどり 北海道下川町上名寄から産出した中期中新世上名寄植物化石群の古植生とその変遷
- P03: 伊藤麻佑子・半田直人・大出 悟・勝村敏史・田邊佳紀・祝 純・渡辺浩央・犬塚則久・仲谷英夫 鹿児島県種子島の中新統 茎永層群から産出した哺乳類化石(予報)
- P04: 松井久美子・河部壮一郎 北海道羽幌地域から産出した束柱類化石
- P05: 田中公教・小林快次・加納 学・栗原憲一 北海道三笠市の上部白亜系鹿島層より産出したヘスペロルニス目とその意義
- P06: 半田直人・中務真人・國松 豊・仲谷英夫 ケニア北部の上部中新統ナムルングレ層およびナカリ層 *Chilotheridium* (奇蹄目, サイ科) 化石
- P07: 廣瀬浩司・鶴飼宏明・宮田和周・東 洋一・呂 君昌 熊本県御所浦島の白亜系御所浦層群より産出した爬虫類の皮膚痕化石について
- P08: 高津翔平・Sardsud, A.・Saesaengseerung, D.・Pothichaiya, C.・上松佐知子・指田勝男 タイ国東北部 Khorat 層群における恐竜類の足跡化石について
- P09: 山田英佑・仲谷英夫 メゾウエア解析における定量的評価法の検討
- P10: 中島保寿 栄養管の構造に基づく四肢骨の成長中心の推定
- P11: 鏑本武久・名取真人 距骨サイズの変異：現生ニホンザルの例
- P12: 渡辺順也 現生・化石カモ科(鳥綱)の骨格における無飛翔化に伴う形態変化
- P13: 飯島正也・小林快次 恐竜類における骨盤・大腿骨の筋骨格系の進化と姿勢の進化パターン
- P14: 木村由莉 森林性から草原性へ：ネズミ類における歯の適応進化とニッチの形成
- P15: 実吉玄貴・西戸裕嗣・Khishigjav Tsogtbaatar・Tsogtbaatar Chinzorig モンゴル産盗掘恐竜化石の学術的価値再生へ向けた地球化学的研究
- P16: Yusuke Ozawa・Hideo Nakaya Revision of tetraconodonts from the Chiang Muan Formation (latest Middle Miocene), Northern Thailand
- P17: 河原康浩・真鍋 真・実吉玄貴・Khishigjav Tsogtbaatar 脊椎動物化石のクリーニング作業におけるカーボワックスの有効性実験
- P18: 藪本美孝・真鍋 真・松本涼子・坂田智佐子・熊谷 賢 陸前高田市立博物館でレスキューされた魚類化石について

- P19: 角南潤樹・岡本 隆 正常巻アンモナイトの化石化過程での変形様式
- P20: 小泉 翔・岡本 隆 後期白亜紀異常巻アンモナイト *Polyptychoceras* の殻形態の周期変化
- P21: 清水史也・岡本 隆 正常巻アンモナイトの殻装飾形成モデル
- P22: 小林勇太・栗原行人 *Babylonia elata* (鮮新-更新世バイ科腹足類) の変異に関する研究
- P23: 山岡勇太・近藤康生 上部鮮新統穴内層から産出した最古のチョウセンハマグリ *Meretrix lamarcki* 化石
- P24: 川戸さゆり・大路樹生 *Turritella* 属の捕食痕と修復痕—南方系・北方系の比較—
- P25: 圓谷昂史・鈴木明彦 北海道積丹半島沿岸への暖流系貝類の漂着
- P26: 玉井風史・間嶋隆一・中島 礼・佐藤 圭 北西太平洋産シンカイヒバリガイ属 4 種の貝殻微細構造
- P27: 西田 梢・石村豊穂・佐藤 圭・佐々木猛智 二枚貝リュウキュウサルボウ亜科の貝殻微細構造と水温の関係 —系統進化・古生物地理の視点から—
- P28: 石川牧子・亀形菜々子・鍵 裕之・佐々木猛智・遠藤一佳 軟体動物貝殻色素のラマンスペクトル解析
- P29: 安藤佑介・鵜飼宏明・河野重範・廣瀬浩司・小松俊文 熊本県の更新統小串層および長崎県の更新統大江層から産出した甲殻類化石
- P30: 野村真一・石原克彦 群馬県太田地域の下部中新統緑町層から産出した化石フジツボ類
- P31: 加藤 萌・大路樹生 サウスダコタ州南西部上部白亜系 Pierre 頁岩中の冷湧水炭酸塩岩より産出する棘皮動物群集
- P32: 松浦康隆・入月俊明・林 広樹 島根県中部中新統大森層～布志名層下部より産出した化石群集
- P33: 大野悟志・鈴木雄太郎 定住性イレニモルフ形態型三葉虫種 *Stenopareia oviformis* の視覚特性
- P34: 大野理恵・千徳明日香・升本眞二・江崎洋一 キサンゴ科非造礁性群体サンゴの形態形成モデリングとその群体形態の評価
- P35: 牧野淳平・鈴木雄太郎 球体化防御姿勢の構築における形態的メカニズム：ハマダンゴムシ *Tylos granuliferus* を例に
- P36: 宮崎将和・金沢謙一 北西太平洋ヨウミャクカシパン類の系統
- P37: 泉賢太郎 生痕化石 *Phycosiphon incertum* の地球化学分析に基づく形成生物の詳細な古生態
- P38: 木元克典・佐々木 理・鹿納晴尚・小野寺丈尚太郎・原田尚美・田中裕一郎 生物源炭酸塩骨格密度が明らかにする北極海の海洋酸性化の季節変動
- P39: Christophe Fontanier・Takashi Toyofuku・Pierre Anschutz・Sabrina Bichon・Roseline Buscail・Gérard Chabaud・Bruno Deflandres・Pauline Duros・Sarah Goubet・Antoine Grémare・Anastasia Ivanovsky・Kazumasa Oguri・Kiichiro Kawamura・Karoliina Koho・Atsushi Kurasawa・Edouard Metzger・Aurore Movellan・Masafumi Murayama・Lennart Jan deNooijer・Nina Ohkawara・Dominique Poirier・Olivier Radakovitch・Arito Sakaguchi・Ralf Schiebel・Stefan Schouten・Hisami Suga・Frans Jorissen・Gert-Jan Reichart・Hiroshi Kitazato Assessing the environmental impact of Tōhoku tsunami off Hachinohe (NE Japan): a multidisciplinary approach
- P40: Duros, P・Toyofuku, T・Kitazato, H Ecological impact of the Tōhoku Tsunami on marine biodiversity: environmental biomonitoring with live benthic foraminifera
- P41: Gengo Tanaka・Toshifumi Komatsu・Yoshiki Saito・Nguyen Duc Phong Ostracod assemblages and their temporal change during the past 10,000 years in northeast coast of Vietnam
- P42: 佐野佳緒里・柏木健司 富山県桐谷地域の下部中新統楡原層のチャート礫から産したジュラ紀放散虫化石
- P43: 柏木健司・平澤 聡 富山県下の手取層群九頭竜亜層群から産する放散虫化石群集
- P44: 荻野慎諧・徳川広和・寺田尚樹・渡部真人 古生物学普及のための異分野連携の試み
- P45: 西村智弘 博物館アウトリーチ活動にむけた本邦白亜紀イノセラムス科二枚貝のキャラクター「いのせらたん」の制作

【13:00～14:00】「化石友の会」講演会 (C 会場)
「鳥を目指した恐竜」 小林快次

【14:10～15:40】一般講演 口頭発表 3 (A～C 会場)

A 会場 (101 教室)	B 会場 (103 教室)	C 会場 (104 教室)
古脊椎動物の部(2) 座長:佐藤たまき	古生態の部 座長:椎野勇太	古環境の部 座長:河湍俊吾
A12m: 松本涼子 本邦初の吻部の長いコリストデラ類 (爬虫類)	B12w: 北沢公太 ウミユリの潜在的な外敵: ヒトデによる捕食	C12w: 野村律夫 中海における水門の撤去が汽水湖と沿岸水の水交換に及ぼした影響
A13m: 小林快次 カナダ・アルバータ州南部産のオルニトミムス科の再検討	B13w: 大野樹生・Aaron W. Hunter・Neal L. Larson・Neil H. Landman サウスダコタ州南西部上部白亜系の冷湧水域炭酸塩岩より産出した奇妙なウミユリ化石	C13w: 赤崎広志・門田真人・松田清孝 ハシナガソデガイ化石の産状再現実験
A14m: 樽 創・甲能直樹 福島県伊達市の中中新統梁川層から産出したパレオパラドキシア全身骨格化石の再検討	B14w: 南條雄大・間嶋隆一・加瀬友喜・岡田明莉・野崎篤・宇都宮正志・和仁良二・Maac-Aguilar, Yolanda・Fernando, Alan Gil S.・和田秀樹・Jenkins, Robert・林 広樹・大竹 翔 化学合成二枚貝化石と共産する自生炭酸塩の沈殿過程 -フィリピン, レイテ島の例-	C14w: 門田真人 丹沢山地より産出する中新世八放サンゴ亜綱 <i>Heliopora coerulea</i> (Pallas)アオサンゴ化石について
A15w: 北川博道・坂本 治・長谷川善和 埼玉県産パレオパラドキシア	B15w: 野牧秀隆・井上健太郎・菅 寿美・布浦拓郎・土屋正史・豊福高志・北里 洋 さまざまな深海環境における化学合成一次生産量の現場測定と生態系での役割	C15w: 松井浩紀・西 弘嗣・高嶋礼詩 赤道太平洋域における中新世から後期更新世までの浮遊性有孔虫化石群集 (IODP Exp.320/321)
A16w: 柏村勇二・木村敏之・長谷川善和 栃木県宇都宮市の上中新統よりクジラ類化石の産出	B16w: 山本純之・吉田 繁・山西弘城・伊藤哲夫・古川道郎 シアノバクテリアの放射性セシウム除染能力: ストロマトライト形成実験からの応用	C16m: 大串健一・大音香織・岩永朋子・池原 実 有孔虫解析に基づくコスタリカ沖東太平洋の第四紀海洋環境変動
A17w: 薄井重雄・高橋啓一・阿部勇治・松本みどり 鮮新-更新世から産出する三尖の角をもつシカ類の分類について	B17m: 横山芳春・安藤寿男・仲田亜紀子・近藤康生・松島義章・重野聖之・七山 太・石井正之・上原 亮・村田崇行・笹嶋由衣 巨大津波の襲来を繰り返し受けた化石カキ礁: 北海道東部パシクル沼における完新統の例	C17m: 秋元和實・滝川 清・島崎英行・矢北孝一・外村隆臣・森 敬介・坂本泉・滝野義幸 音響装置, 自律型モニタリングロボットおよび遠隔操作型ロボットによる水俣湾内外の地形, 底質, 動物相の評価

【15:40～15:50】休憩

【15:50～17:05】一般講演 口頭発表 4 (A～C 会場)

A 会場 (101 教室)	B 会場 (103 教室)	C 会場 (104 教室)
古脊椎動物の部(3) 座長: 北川博道	古生態・古脊椎動物・ タフオノミーの部 座長: ロバート・ジェンキンス	形態解析の部 座長: 田中源吾
A18w: 村上達郎・宮田和周・ 加藤敬史・仲谷英夫 長崎県 松浦市鷹島産出の前期中新 世サイ科化石の特徴とその 意義	B18m: 奈良正和 日本海拡大 期における西南日本弧前弧 域の堆積学と古生態学	C18w: 椎野勇太・桑水流 理・鈴木雄太郎・大野悟志・ 増田智洋 漂泳生か遊泳性 底生かーハイポディクラノ タス問題
A19w: 安井謙介 渥美半島沖 遠州灘海底から産出したナ ウマンゾウ化石について	B19w: 安藤寿男・大越健嗣・ 秋元和實・七山 太・坂本 泉・滝野義幸・根本ゆかり 八 代海南部の海底水深 30m の マウンド群に発達するカキ ツバタ (二枚貝) 礁	C19w: 岡本 隆・岡田基 央・小泉 翔 白亜紀異常 巻アンモナイト <i>Polyptychoceras</i> の殻装飾に 関する理論形態学的研究
A20w: 大島光春・富田幸光・ 合田隆久 岐阜県可児市の中 新統中村層から日本新産 <i>Plesiosorex</i> 属下顎骨化石の発 見	B20w: 千代田厚史・伊藤泰弘 神奈川県真鶴半島周辺に見 られる岩石穿孔性二枚貝類 について	C20w: 生形貴男 形態的豊 富度・均等度を表す異質性 尺度
A21w: 西岡佑一郎・江木直 子・鏑本武久・タウンタイ・ ジンマウンマウンティン・高 井正成 ミャンマー中部の後 期鮮新世ー前期更新世の哺 乳類相	B21w: 石垣 忍 獣脚類は協 力集団狩猟をしたか?	C21w: 松岡 篤・吉野 隆・岸本直子・石田直人・ 栗原敏之・木元克典 中生代 放散虫 <i>Pantanelium</i> の外 層殻を構成する殻孔棒数の 多様性
A22w: 楠橋 直・王 元青 中国遼寧省の沙海層・阜新層 から産出する前期白亜紀哺 乳類化石群	B22w: 松岡廣繁・平澤 聡・ 大貫 巧・丸山啓志・小原正 顕・小西卓哉・御前明洋 和 歌山県有田川町鳥屋城層産 モササウルス類化石のタフ オノミー	C22w: 後藤仁敏 現代日本 人女性の歯の個体変異と退 化傾向

【17:15～17:20】一般講演 ポスター賞表彰式 (受付付近)

【17:30～】夜間小集会 (A 会場)

「現生種最古の化石記録を探る：貝類版 EoS 計画

(Earliest fossil Occurrence of extant Species) 第 4 回集会」

近藤康生・延原尊美・松原尚志・佐々木猛智・栗原行人・中尾賢一

1 月 27 日 (日) 県民共済みらいホール

【14:00～16:00】普及講演会

「化石と現生生物から分かる相模湾の大規模環境変動」

1. 相模湾の深海にもぐったら不思議な生物の世界がありました 藤倉克則
2. 三浦半島の地層から分かる過去の相模湾周辺の環境変動 間嶋隆一

*** * * * 3. 発表方法と発表機器についての注意事項 * * ***

<一般講演（口頭発表）をされる方へ>

- 発表時間は、講演 12 分、質疑応答 3 分です。時間厳守でお願いいたします。
- 使用機器は事前申告制です。講演番号に続く w, m の文字は、プレゼンに使用するパソコン OS の略号です。w:Windows (OS 指定なしを含む), m:Mac。
- Windows は Power Point2007 バージョン, Mac は Power Point2008 バージョンのインストールされた PC を用意しています。プログラムの進行上, ご自身のパソコンを持ち込んでの講演は原則としてご遠慮ください。なるべく一般的なフォントを使用し, Windows の方は可能であればフォントの埋め込みをお願いいたします。
- 各講演者は、講演用ファイルを CD または USB メモリーに保存し, ご持参ください。ファイル名は、「C03_Yabe.ppt」のように、「講演番号, アンダーバー, 筆頭講演者名, 拡張子(.ppt)」(すべて半角)として下さい。
- データの受け渡しは、総合受付協の専用カウンターで行ってください。1 月 25 日(金)の午後から受け付けます。混雑が予想されますので、時間の余裕を持ってお越し下さい。受付時に作成した OS の種類と Power Point のバージョンを必ずお知らせください。

<ポスター発表をされる方へ>

- ポスター発表用スペース：タテ 180 cm x ヨコ 90 cm, 貼るための両面テープを準備いたします。画鋏は使用できません。
- ポスター発表のコアタイムは 1 月 26 日(土) 13 時 00 分～14 時 00 分ですが, ポスターは, 当日の朝 9 時から貼ることができます。なお, ポスターは同日 16 時 45 分までに必ず撤収してください。詳しくは会場受付あるいは会場係までお尋ねください。

<会場および発表方法・機器などに関する連絡・問い合わせ>

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2 横浜国立大学
河潟俊吾(教育人間科学部) 電話&FAX: 045-339-3347, 電子メール: kawagata@ynu.ac.jp

- 懇親会について：本プログラム ii ページ参照。懇親会への参加は、1 月 11 日(金)までに下記担当までお申し込みください。

和仁良二(環境情報研究院) 電話&FAX: 045-339-3688, 電子メール wani@ynu.ac.jp

- 昼食：1 月 26 日(土)は大学の生協・食堂は休業です。付近のコンビニ、ファミリーレストランをご利用ください。1 月 26 日(土)分の弁当は、予約を承りますので、1 月 18 日(金)までに下記担当までお申し込みください。

和仁良二(環境情報研究院) 電話&FAX: 045-339-3688, 電子メール: wani@ynu.ac.jp

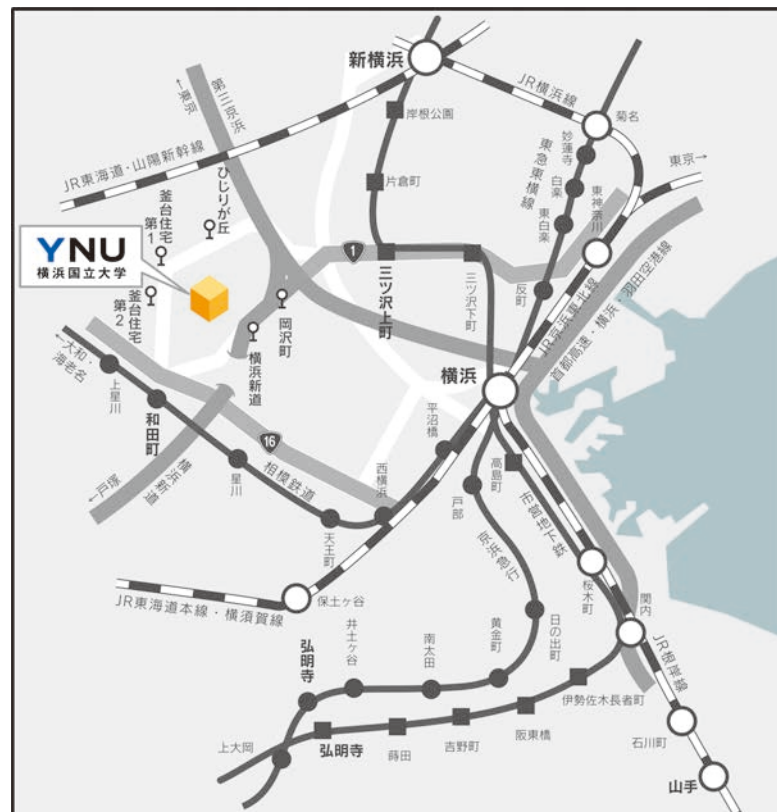
- 盗難対策：最近、本学会を含め、学会開催中の盗難が報告されています。貴重品は確認の責任で管理をお願い致します。

- その他の注意事項：学会会場は全面禁煙です。定められた場所での喫煙をお願い致します。学会会場建物内では、所定の場所以外での飲食はご遠慮ください。

- 宿泊案内：大学周辺にホテルはありませんが、横浜市街には多数の宿泊施設があります。「横浜駅」周辺が便利です。各自ご予約願います。

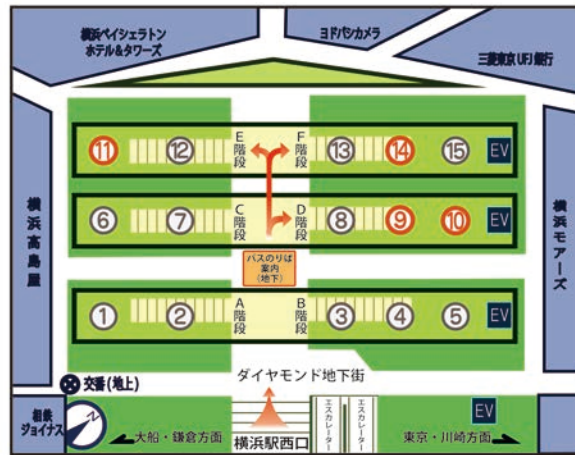
**** 4. 会場案内 ****

- 1月25日（金） ・ 総合受付：教育文化ホール
 ・ シンポジウム講演：大会議室
- 1月26日（土） ・ 総合受付：教育人間科学部講義棟7号館1Fホール
 ・ 一般講演：教育人間科学部講義棟7号館1F
 A会場：101教室，B会場：103教室，C会場：104教室
 ・ ポスター会場：中央図書館1F
 ・ 休憩室：教育人間科学部講義棟7号館1F
 ・ 販売会場：教育人間科学部講義棟7号館1F
- 1月27日（日） ・ 普及講演会：県民共済 みらいホール



<地下鉄：三ツ沢上町駅からの道のり>

<バス（横浜駅西口より）>



※バスの乗車時間は15～20分です（目安）

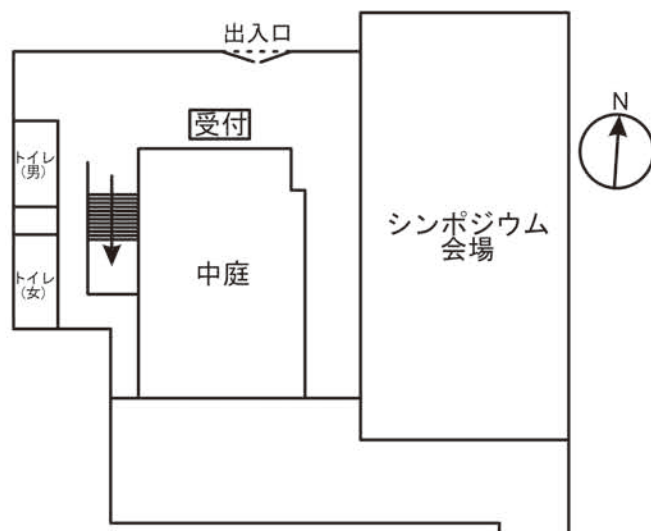
乗り場	行き先	下車停留所
・横浜市営バス		
11	循環外回り202系統 横浜駅西口行	横浜新道（南通用門まで徒歩約3分） 岡沢町（正門まで徒歩約2分）
14	循環内回り201系統 横浜駅西口（松本経由）行	岡沢町（正門まで徒歩約5分） 横浜新道（南通用門まで徒歩約2分）
・神奈中バス		
14	01系統 中山駅行	岡沢町（正門まで徒歩約5分） 横浜新道（南通用門まで徒歩約3分）
・相鉄バス		
10	浜5系統 交通裁判所経由 横浜西口行	岡沢町（正門まで徒歩約5分）
9	浜11系統 釜台住宅第3行 浜11系統 釜台經由上星川駅行	釜台住宅第1/釜台住宅第2 （西門まで徒歩5分） ひじりが丘（北門まで徒歩2分）

※詳細については大学のホームページ
<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html> をご参照ください

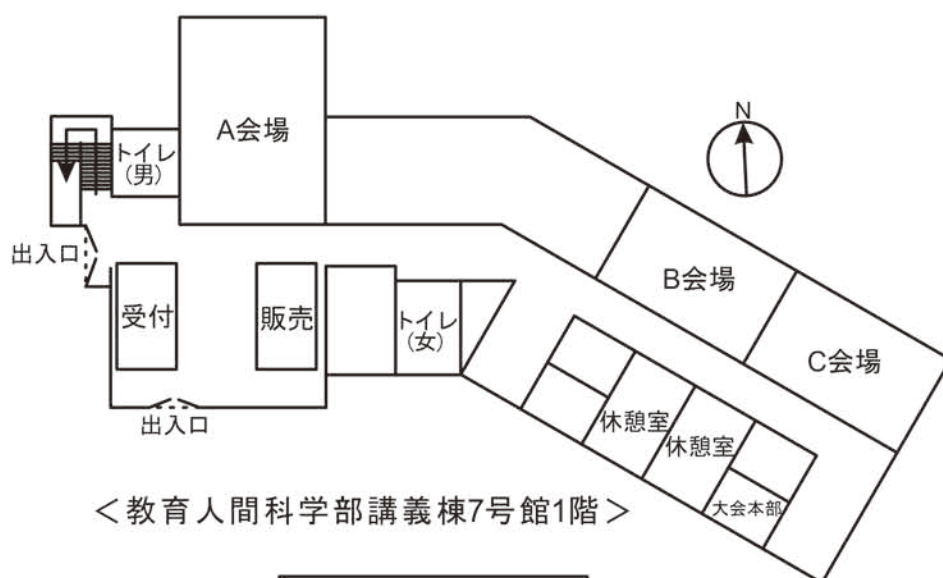


<横浜国立大学キャンパスマップ>

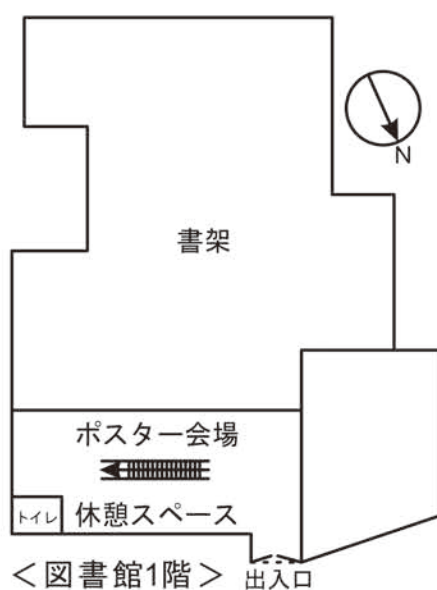
会場案内図



<教育文化ホール>



<教育人間科学部講義棟7号館1階>



<図書館1階>

＜普及講演会場へのアクセス＞



県民共済みらいホール

〒231-8418

神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8-2

県民共済プラザビル1階

＜みなとみらい29街区＞

電話：045-201-3080

＜電車＞

JR根岸線

「桜木町」駅下車 徒歩約3分

横浜市営地下鉄

「桜木町（県民共済プラザ前）」駅下車徒歩約4分

みなとみらい線

「みなとみらい」駅下車 徒歩約5分